独立行政法人 国立病院機構東広島医療センター

看護師の特定行為研修

募集要項

2027

特定行為研修の概要

国立病院機構は、「私たち国立病院機構は、国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者さんの目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。」の理念のもと、急性期医療からセーフティネット分野の医療を担い、地域医療に貢献してきました。

医療を取り巻く環境が変化しても、患者や地域住民が必要とする医療を安定的かつ継続的に提供していく上では、医療提供体制の充実・強化が必要不可欠です。また、医療の質を向上させ、維持するために、未来を担う医療人の育成は国立病院機構の責務と考えます。これらの使命を果たすべく、国立病院機構は看護師特定行為研修を推進することとしました。

＜研修理念＞

国立病院機構病院 看護師特定行為研修（以下「本研修」という。）は、チーム医療の要である看護師が、医療機関や在宅において患者や利用者の状態・状況を自律的に判断し、特定行為の実施も含めた適切な医療を提供することにより、これからの時代に望まれる医療の実現（再構築・姿）に向けて役割が果たせることを目指します。なかでも、特定行為の実施にあたっては、研修後も自己研鑽を重ね、より安全で質の高い看護の提供を探求する姿勢を養うことを重視します。また、本研修は地域医療構想の実現、地域包括ケアシステムの構築に貢献できる看護師の育成を、地域の医療機関とともに連携・協働して行っていくものとし、地域における医療人の育成に貢献していきます。

＜研修目的＞

医師の包括的な指示のもと、診療の補助（特定行為）が安全かつ医療倫理に基づき実施できる基礎的能力を養う。

＜研修目標＞

1. 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。
2. 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。
3. 多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実施する能力を身につける。
4. 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
5. 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける。
6. 医師の指示の下、手順書により、身体所見、検査所見、画像所見等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、安全に特定行為を行えるようになる。
7. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。
8. 医師、歯科医師から手順書による指示をうけ、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。
9. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。

＜研修内容＞
Ⅰ. 領域別パッケージ研修

1. 共通科目

No	科目名	時間数
1	臨床病態生理学	31時間
2	臨床推論	45時間
3	フィジカルアセスメント	45時間
4	臨床薬理学	45時間
5	疾病・臨床病態概論	41時間
6	医療安全学 / 特定行為実践	45時間
合　　計		252時間

※ 共通科目は、講義（e-ラーニング）・演習、実習で構成されます。時間数には試験時間を含みます。

2. 領域別パッケージ研修：外科術後病棟管理領域

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	９時間	５症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	17時間	５症例
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		５症例
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換	８時間	５症例
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更	13時間	５症例
	胸腔ドレーンの抜去		５症例
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）	８時間	５症例
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去	７時間	５症例
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	８時間	５症例
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	６時間	５症例
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	９時間	５症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	11時間	５症例
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	８時間	５症例
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	16時間	５症例
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整		５症例
合計　（12 特定行為区分　15 特定行為）		120時間	15×５症例

※区分別科目は、講義（e-ラーニング）・演習・実習・試験で構成されています。時間数には、修了試験時間を含みます。
　また、演習・実習・試験は、集合で実施します。
※区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目を履修し試験に合格していることが必要です。

Ⅱ．区分別科目研修（区分別科目研修は複数の行為を選択することができます）

① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
② 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
③ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
④ 動脈血液ガス分析関連
⑤ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
⑥ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連

1. 共通科目 … P03「Ⅰ．領域別パッケージ研修　共通科目」

2. 区分別科目

① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	16時間	5症例
	脱水症状に対する輸液による補正		5症例
合　計		16時間	2×5症例

②血糖コントロールに係る薬剤投与関連

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	16時間	5症例

③精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	26時間	5症例
	抗精神病薬の臨時の投与		5症例
	抗不安薬の臨時の投与		5症例
合　計		26時間	3×5症例

④動脈血液ガス分析関連

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	13時間	5症例
	橈骨動脈ラインの確保		5症例
合　計		13時間	2×5症例

⑤栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入	8時間	5症例

⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連

特定行為区分	特定行為	時間数	症例数
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	7時間	5症例

※ 区分別科目は、講義（e-ラーニング）・演習・実習・試験で構成されています。時間数には、修了試験時間を含みます。
　また、演習・実習・試験は、集合で実施します。
※ 区分別科目を履修するためには、共通科目の全科目を履修し試験に合格していることが必要です。

＜研修科目選択＞

領域別パッケージ研修（外科術後病棟管理領域）と区分別科目研修①～⑥を同時に受講することはできません。
区分別科目研修①～⑥は、複数受講が可能です。

＜研修期間＞

□ **領域別パッケージ研修**
外科術後病棟管理領域　｜　令和9年4月20日～令和10年3月31日

□ **区分別科目研修**　｜　令和9年4月20日～令和9年12月24日
（区分別科目研修は、履修科目数により研修期間が変動します）

① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
② 血糖コントロールに係る薬剤投与関連
③ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
④ 動脈血液ガス分析関連
⑤ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
⑥ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連

＜研修日程＞

	領域別パッケージ／区分	領域パッケージ研修 外科術後病棟管理領域	区分別科目研修
共通科目	開講式・ガイダンス	2027年4月20日	
	共通科目受講開始 （e－ラーニング・演習・教室内実習含む）	2027年4月20日	
	共通科目試験	2027年8月中旬	
区分別科目	区分別科目受講開始 （e－ラーニング・演習・実技試験含む）	2027年8月下旬 各共通科目修了後に実施	
	集合研修	2027年9月上旬～10月上旬 この期間で10日間程度	2027年9月上旬
	臨床実習開始	2027年10月中旬	2027年9月中旬
	臨床実習終了	2028年2月下旬	2027年12月上旬
	区分別科目試験	2028年3月上旬	2027年12月中旬
	修了式	2028年3月中旬	2027年12月下旬

※区分別科目研修は、履修科目数により研修期間が変動します。

＜研修場所・実習施設＞

［ **集合研修** ］
独立行政法人国立病院機構東広島医療センター　外来診療棟2階　特定行為研修室 または 研修センター
［ **e-ラーニング・臨床実習** ］
独立行政法人国立病院機構東広島医療センター　または、受講生の所属施設

＜研修経費（税込）＞

1. 受講料（共通科目含む）

領域別パッケージ研修：　外科術後病棟管理領域

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	760,000円	580,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	980,000円	750,000円

区分別科目研修

①栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	233,000円	53,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	299,000円	69,000円

②血糖コントロールに係る薬剤投与関連

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	231,000円	51,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	296,000円	66,000円

③精神及び神経症状に係る薬剤投与関連

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	284,000円	104,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	365,000円	135,000円

④動脈血液ガス分析関連

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	223,000円	43,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	286,000円	56,000円

⑤栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	208,000円	28,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	266,000円	36,000円

⑥栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連

所　　属	受講料	受講料 （共通科目免除の場合）
独立行政法人国立病院機構の病院に所属する者	207,000円	27,000円
独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者	265,000円	35,000円

※ 区分別科目を複数選択する場合は、1科目の受講料に加えて2科目以降は共通科目免除の受講料が必要となります。

（例）独立行政法人国立病院機構以外の施設に所属する者が、「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」・「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」・「動脈血液ガス分析関連」の3科目を受講する場合、
299,000円 ＋ 66,000円 ＋ 56,000円 ＝ 421,000円

2. その他

学習に必要なテキスト等の書籍費

＜その他＞

1. 履修免除について

他の特定行為研修指定研修機関及び学研等のe-ラーニングでの学習内容が、本研修の学習内容に相当するものと認められる場合、共通科目に限り履修免除となることがあります。
出願時に書類の提出が必要となりますので、出願前に問い合わせ先までご連絡ください。

＜抜粋＞独立行政法人国立病院機構東広島医療センター　特定行為研修履修免除規程

（入講前の既修科目の認定及び履修免除の範囲）

第2条　他の特定行為研修指定研修機関及びS-QUE研究会、学研メディカルサポート等のe-ラーニングで履修した学習内容が、特定行為研修規程第12条第1項に規定する共通科目の学習内容に相当するものと認められる場合に限り、科目単位で履修を免除する。

（申請手続）

第3条　入講前の既修科目の認定及び履修免除を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、以下の各号に掲げる書類を、出願時に院長に提出しなければならない。

一　履修免除申請書

二　特定行為研修修了証

三　S-QUE研究会、学研メディカルサポート等のe-ラーニングの視聴管理システムによる視聴履歴

※3年以内の視聴履歴に限る

2. 教育訓練給付制度について

一部の看護師特定行為研修は、厚生労働大臣が指定する「特定一般教育訓練給付金」の対象講座です。

一定の支給要件を満たす方が本研修を受講し、修了した場合、受講者本人が負担した教育訓練経費の40％（上限20万円）が支給されます。また、一定の要件を満たした場合には、受講費用の10％（上限5万円）が追加支給される制度があります。

給付金の支給を受けるためには、雇用保険の加入状況等に応じた支給要件を満たす必要があります。受給資格の有無や申請手続き等については、受講開始前に必ず住所地を管轄するハローワークへご確認ください。

なお、本制度の利用の可否および給付金の支給について、当院が保証するものではありません。

「特定一般教育訓練給付金」の対象講座

講　座　名	指定講座番号
領域別パッケージ研修「外科術後病棟管理領域」	3422008-2610013-2
区分別科目研修「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」	3422008-2610023-5
区分別科目研修「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」	3422008-2610033-8
区分別科目研修「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」	3422008-2610043-0
区分別科目研修「栄養に係る末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理関連」	3422008-2610053-3
区分別科目研修「動脈血液ガス分析関連」	3422008-2620013-2

※区分別科目研修に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連は上記の訓練給付制度の対象外です。

3. 集合研修中の宿泊先は受講生で手配してください。

応募要領

1. 受講資格

以下のすべてを満たしていること

1）日本国内の看護師国家試験における看護師免許を有する者
2）看護師免許取得後、5年以上の看護師実践経験を有する者
3）看護職賠償責任保険に加入している者
4）所属施設長の推薦を有する者

2. 募集人員　　5名

（内訳）　領域別パッケージ研修
　　外科術後病棟管理領域：2名
　　区分別科目研修
　　① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連　：2名
　　② 血糖コントロールに係る薬剤投与関連　　：1名
　　③ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連　：1名
　　④ 動脈血液ガス分析関連　　：2名
　　⑤ 栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連：2名
　　⑥ 栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連：2名

※ 領域別パッケージ研修（外科術後病棟管理領域）と区分別科目研修①～⑥を同時に受講することはできません。
　区分別科目研修①～⑥は複数受講が可能です。

3. 試験日　　2027年2月5日（金）

4. 試験科目　　小論文（800字程度）、面接試験

5. 出願手続

1）出願期間　　2026年12月7日（月）～ 2027年1月8日（金）必着
2）出願書類
　① 受講申請書（指定用紙）　・・・・・・・・・様式1
　② 履歴書（指定用紙）　　・・・・・・・・・様式2
　③ 志願理由書（指定用紙）　・・・・・・・・・様式3
　④ 所属施設長の推薦書（指定用紙）・・・・様式4
　⑤ 履修免除申請書（指定用紙）・・・・・・・・様式5
　⑥ 看護師免許の写し（A4サイズ）
　⑦ 受験票
　⑧ 写真票
　⑨ 返信用封筒
3）審査料　20,000円（税込）
　(1) 納入は、銀行振り込みとします。本研修指定の「振込依頼書」を使用し、振り込んでください。
　(2)「ご依頼人」は、必ず申請者本人の氏名を記入し、銀行窓口に提出してください。
　　尚、お名前の頭に「特定行為」を印字しているので、その続きに記入してください。
　(3) 振込手数料は、ご依頼人の負担となります。
　(4)「振込金受取書」をもって領収書に代えますので、保管してください。
　(5) 振込後は「振込通知書（センター提出用）」を出願書類とともに郵送してください。

4）出願書類の書き方

(1) 受講申請書：指定用紙（様式1）

①「申請者氏名（ふりがな）」は、本人が署名し押印してください。

(2) 履歴書：指定用紙（様式2）

①年齢は、2027年4月1日現在で記入してください。

②電話番号は、いつでも連絡がとれる番号をいずれか1つは記入してください。

③E-mailアドレスを記入してください。なお、研修修了後も必要に応じてメールでの情報発信を行うことがありますのでご承知おきください。

④一般学歴・専門学歴は、いずれも最終学歴を記入してください。

⑤職歴は、正式な施設名と診療科、勤務期間を記入してください。

⑥写真は6か月以内に撮影したもの（縦40mm×横30mm、裏面に氏名記載）を貼付してください。

(3) 志願理由書：指定用紙（様式3）

①「志願理由」は、臨床看護の経験を含めて、具体的に記載してください。

(4) 推薦書：指定用紙（様式4）

①推薦者氏名には、施設長の氏名を記入し、施設長印を押印してください。

②「推薦理由」は、「受講希望者の看護実践能力、研修修了後の期待される役割等」を具体的に記載してください。

③推薦書は「厳封」にて準備してください。開封すると無効になるので、厳封のまま送付してください。

(5) 履修免除申請書：指定様式（様式5）

①履修免除申請書（様式5）の他に特定行為研修修了証とe-ラーニングの視聴管理システムによる視聴履歴のわかる書類を提出してください。

②履修免除を受けようとする方は、出願前にお問い合わせください。

(6) 看護師免許証の写し

①看護師免許（原本）をA4サイズに縮小し複写したものを提出してください。

(7) 受験票：指定用紙

①氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(8) 写真票：指定用紙

①「履歴書」に使用した同じ写真を貼付してください。

②氏名（ふりがな）、生年月日を記入してください。

(9) 返信用封筒：指定封筒

①受験票送付封筒に受験者の住所、郵便番号及び氏名を記入し、速達郵便額相当分（410円）の郵便切手を貼ってください。封筒の送付先は、受験者に確実に届く住所を記入してください。

5）出願方法

出願書類を一括して封筒に入れ、書留郵便で郵送又は持参してください。

封筒の表の左側に、「特定行為研修」と朱書きしてください。

6）注意事項

(1) 試験日の4日前になっても受験票が届かない場合は、下記へお問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構東広島医療センター　特定行為研修担当者（野津・道面）

電話（代表）082-423-2176

(2) 一旦納入した審査料及び提出書類は、返還できません。

6. 選考方法

小論文、面接試験の結果及び出願書類を総合し、合否判定基準に基づき判定します。

7. 試験会場及び時間割等

1）試験会場　　独立行政法人国立病院機構東広島医療センター　会議室

2）時間割

試験科目	試験時間
受　　付　（30 分）	9：00～ 9：30
オリエンテーション　（15 分）	9：30～ 9：45
小　論　文　（60 分）	9：45～10：45
面接オリエンテーション　（15 分）	10：45～11：00
面接（原則、受験番号の早い順で計画）	11：00～終了まで

3）試験に持参するもの

①受験票

②筆記用具（鉛筆・シャープペンシルを準備してください）

③昼食

4）試験時の注意点

(1) 試験中は携帯電話の電源を切って、カバンに入れてください。

(2) 試験中は、係員の指示に従ってください。

(3) 病院駐車場は、原則使用できません。公共交通機関で来院ください。

8. 合格発表・入講手続

1）合格発表日：　2027年2月19日（金）

(1) 病院ホームページに午前10時に合格者受験番号を掲示します。

(2) 同日、合否結果を本人及び推薦者の施設長宛に通知文書を郵送します。

(3) 電話での合否の問い合わせには応じられません。

2）入講手続

(1) 手続期間：　2027年3月1日（月）～ 2027年3月15日（月）

(2) 入講に係る手続きについては、合否結果の通知文書に書面を同封し案内します。

9. その他

1）提出された書類により得られた個人情報は、受講審査関連のために利用し、その他の目的には一切使用しません。

2）東広島医療センターのホームページから、募集要項、出願書類がダウンロードできます。

https://higashihiroshima.hosp.go.jp

3）入講前の既修科目（e－ラーニング）の認定及び履修免除を受けようとする方は、お問い合わせください。

10. 試験に関する書類の送付先及び問い合わせ先

1）送付先　〒739-0041　広島県東広島市西条町寺家513

独立行政法人国立病院機構東広島医療センター

特定行為研修　受講審査 係

2）問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構 東広島医療センター

特定行為研修担当者　野津・道面

電話（代表）：（082）423-2176　※祝祭日を除く月～金曜日の9:00 ～ 17:00までにご連絡ください。

E-mail：509-tokutei@mail.hosp.go.jp

ー 求職者等に対するセクシュアルハラスメント等の防止について ー

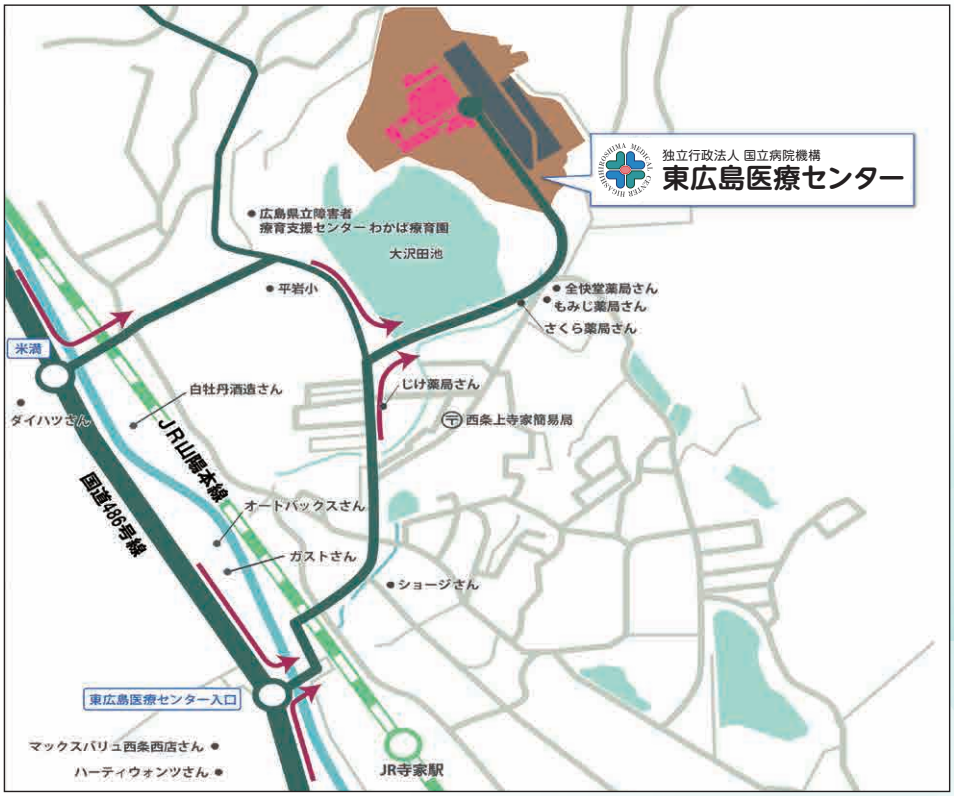
東広島医療センター職員は、求職活動等における募集から採用に至るまでの一連の過程において、次の事項を遵守します。

一　採用面接や個別面談等は、あらかじめ指定した日時及び場所において実施し、それ以外では行いません。
二　採用面接や個別面談等は、必要な対策を講じない限り職員と求職者等による一対一の体制では行いません。
三　求職者等との連絡に際しては、職員個人の携帯電話やＳＮＳのダイレクトメール等によるやり取りは行いません。

万が一、上記ルールから逸脱する行為が見られた場合は、速やかに相談窓口へご連絡ください。なお、当該窓口では相談等への対応に当たって守秘義務があり、相談を理由に、相談者に対して不利益な取扱いをすることはございません。

[相談窓口]
職名：管理課長
電話番号：082-423-2176
メールアドレス：notsu.makto.gf@mail.hosp.go.jp





独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地
tel.082-423-2176　fax.082-422-4675

東広島医療センター 検索
https://higashihiroshima.hosp.go.jp/